

漁況情報 No.13 平成 18 年 9 月 11 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

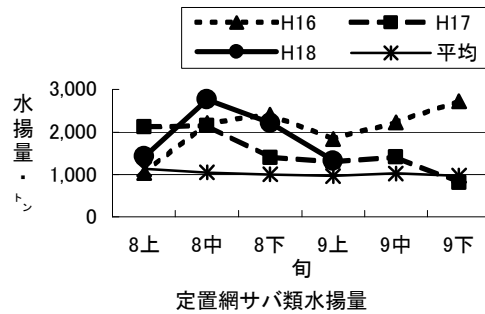
* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しています。

<< トピックス >>

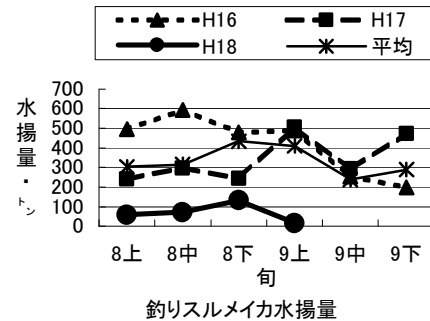
サバ類(定置網)、サンマ(さんま棒受網)、カツオ(かつお一本釣りの水揚げは好調です。
スルメイカ(いか釣りの水揚げは低調です。

1. 水揚げ状況

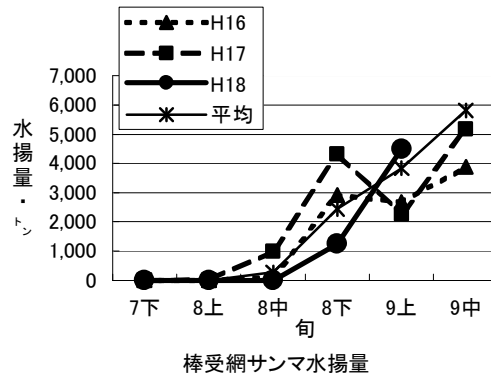
(1) サバ類(定置網)は宮古、釜石を中心に水揚げがありました。9月上旬の水揚げ量は1,323トン(前年の101%)、年累計は12,686トン(前年の113%)です。また、9月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は968トンで、旬水揚げはその1.4倍でした。



(2) スルメイカ(いか釣り)は久慈、宮古、釜石、大船渡を中心に水揚げがありました。9月上旬の水揚げ量は17トン(前年の3.4%)、年累計は529トン(前年の36%)です。また、9月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は410トンで、旬水揚げはその4%でした。

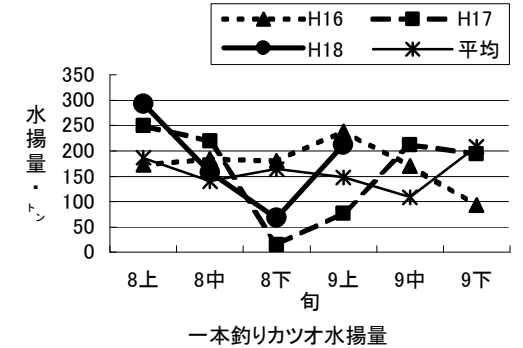


(3) サンマ(さんま棒受網)は宮古、大船渡を中心に水揚げがありました。9月上旬の水揚げ量は4,493トン(前年の2倍)、年累計は5,738トン(前年の76%)です。また、9月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は3,838トンで、旬水揚げは



その117%でした。

(4) カツオ(かつお一本釣り)は、大船渡で水揚げがありました。9月上旬の水揚げ量は212トン(前年の2.8倍)、年累計は1,064トン(前年の90%)です。また、9月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は148トンで、旬水揚げはその1.4倍でした。



* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。

2. 調査結果、その他の情報

(1) サバ類精密測定結果

9月上旬に水揚げされたサバ類(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。

体長は29~31cmが主体であり、8月上旬より1cm、7月中旬より1~2cm程度小さくなっていましたが、37cmの個体もみられ、体長にばらつきがありました(図1)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがありますが、両種は体長(尾叉長、図2、A)と背びれの長さ(第1背びれ第1~第9棘基底長、図2、B)の比で判別できます(詳細は漁況情報No.7参照)。この判別方法によると、今回測定したサバのほとんどがゴマサバ(判別指数12未満)であり、マサバは小型個体のみでした(図2、サバの図はCollette and Nauen(1983)を転載)。8月上旬(ゴマサバの割合約8割)以降ゴマサバの割合が増加しています。

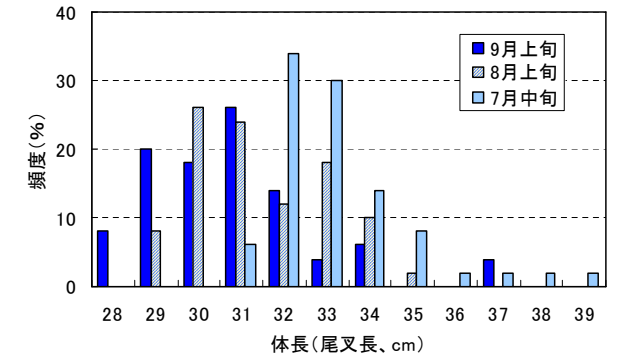


図1 サバ類体長組成

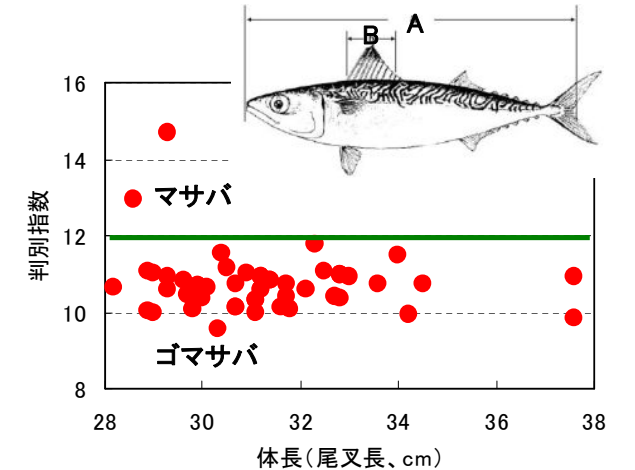


図2 マサバ、ゴマサバ判別指数

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもお活用下さい。